



平成30年10月15日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲  
(JASDAQ・コード 8704 )  
問合せ先 執行役員 財務部長 朝倉 基治  
(TEL 03-4330-4700 (代表))

## 特別利益の発生及び特別損失の発生に関するお知らせ

下記のとおり特別利益及び特別損失の発生が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 連結決算における特別利益の発生について

##### ・関係会社株式売却益（連結）

平成30年8月31日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」で公表のとおり、当社連結子会社みんなのビットコイン株式会社（以下、「みんなのビットコイン」といいます。）の全株式を平成30年10月1日に楽天カード株式会社に譲渡いたしました。これに伴い、株式譲渡金額170百万円と平成30年9月30日現在のみんなのビットコインの純資産額125百万円との差額44百万円を、当社は、平成31年3月期第3四半期連結決算において、関係会社株式売却益として特別利益に計上いたします。（株式譲渡日が平成30年10月1日であるため、平成31年3月期第3四半期連結決算において計上いたします。）

#### 子会社における特別損失の発生について

##### ・ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の減損損失（連結）

上述のとおり、当社連結子会社みんなのビットコインの全株式を平成30年10月1日に楽天カード株式会社（以下、「楽天カード」といいます。）に譲渡いたしました。

当社グループにおいて、システム開発及びシステムコンサルティング事業の中核を担う当社完全子会社である株式会社Nextop.Asia（以下、「Nextop.Asia」といいます。）は、みんなのビットコイン向けに仮想通貨取引関連システム等（以下、「本件システム」といいます。）の開発を進め、本件システムの完成後は、みんなのビットコインからシステム利用料を徴収する計画でした。しかしながら、当該株式譲渡により、みんなのビットコインが当社グループ会社でなくなったことから、本件システムが今後利用されることが不確実な状況となりました。当該株式譲渡が確定した後も、譲渡後のみんなのビットコインと本件システムの利用に関する交渉を継続して行っておりますが、本日まで合意を得ることが出来ていないことから、Nextop.Asiaは、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定に、これまで本件システムの開発に要した費用を資産として計上しておりましたが、本件システムの資産価値はなくなったと判断し、125百万円の減損処理を行うこととしました。

以上の結果、当社は、平成31年3月期第2四半期連結決算において、125百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

なお、本件特別損益の発生による平成31年3月期通期連結業績予想への影響につきましては精査中であり、開示すべき事項がありましたら速やかに公表いたします。

(ご参考) 当期連結業績予想(平成30年5月15日公表分)及び前期連結実績(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成31年3月期)	2,380	△660	△620	△630
前期連結業績実績 (平成30年3月期)	1,728	△1,454	△1,693	△4,047

以上